

2019年度(令和元年) 新川崎・学びの保育園 事業計画

社会福祉法人育木会
学びの保育園グループ

1. 5期のふりかえりの統括と6期の経営計画の基本方針

5期の経営計画は、園が創成期から発展期に移行するためのものであり、園経営の原資「人・物・金」の基盤作りである。

とおけるのではないか。

そしてその基盤作りはスタートし、6期、7期と継続して推進し、6期は基盤作りを成し遂げるための中間期とおいてみたいと考える。

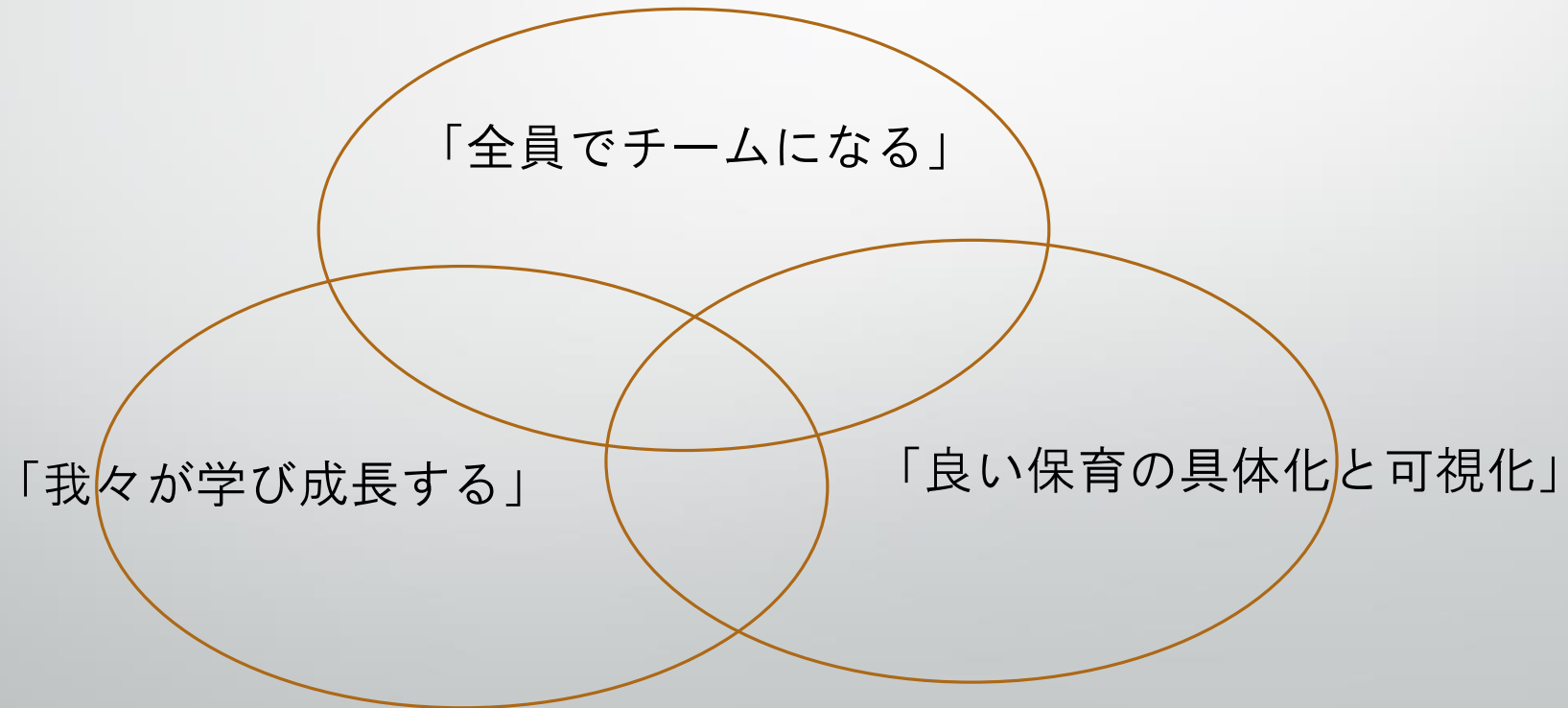
上記をふまえ6期経営計画は、5期計画を継続し、より推進することを園経営の基本方針とおきたい。

2. 6期経営計画のテーマ

前述した6期経営計画の基本方針を踏まえ

▶ 6期の経営計画のテーマ

「全員でチームになる」 & 「我々が学び成長する」 & 「良い保育の具体化と可視化」



3. 6期の具体的な経営戦略

▶ 6期の具体的な経営戦略

1. 園のチーム作りをさらにダイナミックにすすめる
⇒各園の執行部のチーム作りを継続し、さらに園全体を巻き込んだチーム作りを進める
2. 長期的な視野に立ったメンバーの成長支援
⇒メンバーの保育スキル含めた研修の実施や長く働くためのキャリアパスの提示の準備をする
3. 学びの保育園の独自性の追求と具体化
⇒学びの保育園は〇〇な保育園で、具体的に内容を語れるようにする
4. 各園メンバーの「良い保育におけるベスプラ」の流通を図る
⇒メンバーの表彰制度や園留学を進め、良い保育の可視化を図る
5. 園全体&法人自体の成長も目指す
⇒園の権限移譲と収益の強化&新園の開園と監査の指摘ゼロを永遠に目指す

4. 6期の具体的なアクションプラン

- ①組織開発による執行部のチームビルディング研修を継続して推進
- ②同様にメンバーも含めたチーム化を推進する施策を検討する
- ③本部主催のキャリア年数別保育スキル研修の計画と実施を図る
- ④園横断の仕事の想いやベスプラを共有する広報誌「学楽（仮称）」発行の計画を進める
- ⑤保育専門（スペシャル）職のキャリアパスが提示できるよう準備を始める
- ⑥園長の園内予算の計画と執行をさらに推進し、収益をメンバーに還元する制度を検討する
- ⑦新園の開発を進め、メンバーのキャリアアップの受け皿の増加を図る

5. 事業計画（各園）④新川崎

【新川崎・学びの保育園】

テーマ 「一人ひとりの思いを大切にする保育園」

★園として力を入れて取り組んでいきたいこと

①理念・保育目標に関して

- ・理念推進リーダーの活躍 ・子どもたちが主体的に活動できる環境設定や声掛けの工夫
→ 主任、副主任のクラスへの関わり、他園の見学、園内外の研修参加（予算と時間の確保）
- ・職員一人ひとりがリーダーシップを発揮できるよう、見守りながら任せていく体制作り

②職員に関して

- ・執行部ミーティングの定期開催
- ・職員全員で、密に話し、上下関係なくお互いに思いやりを持ち協力助け合える体制作り
→ 意見を出し合い、全員でこの園を作っていくという意識を持つ
- ・職員がやりがいをもって働ける環境作り
→ 次の目標を定め向上心を持つことで、子どもたちや保護者に伝播する。

③その他

- ・保護者支援の強化
- ・財団や基金、企業のCSR等の助成金等の積極的活用
- ・地域の子育て支援
→ 午前中の時間を活用し、地域の親子と触れ合う（リズム遊び、絵本の読み聞かせ会等）

理念・目標・学びのプログラムを職員全員が日々意識し、毎日の保育に取り入れる。